

# 校長 だより

「P T A新聞発刊によせて」

～チャレンジの気概は育っているか～

平成23年6月30日

県立読谷高等学校

校長 與那覇 健勇

「Time is money」4月の始業式での校長あいさつで生徒たちに伝えた最初の言葉です。人の一生を大きく左右する高校生活の送り方ひとつでその後の人生が決まってきます。高校時代はそれほど重要な時期だから何事にも全力であたれというメッセージを込めました。常に「待ったなし」の時間が流れている事を意識してほしいのです。この3年間は何につけても自分自身を大きく成長させるチャンスがいたるところにあります。だから1日1日を大切に送って欲しいと思います。

私の高校生活は親元を離れての孤独で辛い時代でした。1年半にも及ぶ闘病生活からやっと解放されたものの、高校の勉強についていけず落ちこぼれ寸前。特に数学はまるでできませんでした。3年間色々なことで苦しい思いをしました。ですが、その分だけ強くなれました。そして、優しくなれたような気がします。

さて、入学式の式辞でもお願いしたことですが、ご父母の皆さん、子供に弁当を持たせてますか。それとも弁当代をあげてますか。4時間目の授業のあと、校内食堂に弁当を求めて一目散に駆けこんでいく光景が見られます。必死で弁当の調達をしています。一方弁当持参の生徒は余裕でベンチなどに腰掛けてゆっくり楽しんで食べている昼食時の風景です。この違いが毎日となるとどうでしょう。子どもの健やかな成長を考えたときできるだけ弁当を持たせてあげて下さい。

昨年度は本校創立60周年記念事業でたくさんの方々にお世話になりました。ありがとうございました。平成23年度は校舎改築の設計段階に入ります。来年旧校舎を取り壊し、新築する運びになっております。また、今年度は学校のホームページを充実させ、生徒の活躍の様子を伝えるコーナーを新設しました。是非ご覧になって下さい。

このように教育環境は整備され、名実ともに素晴らしい読谷高校に発展する気運の高まりを、日々感じて仕事をさせてもらっていることに喜びと誇りを感じ感謝の念に堪えません。ありがとうございます。また、先生方は徹頭徹尾、生徒のために全力で指導しています。本当にすごいです。誰一人として手抜きなどしません。そして、生徒たちはみずから「ダイヤモンドの原石」を磨き、苦しい時でも「読高プライド」を胸にチャレンジの日々を送っています。部活動にも勉強にも燃えています。ですから、生徒一人一人の頑張りを全力で支え、学校、保護者、地域が一体となって960名の生徒の夢実現に向けてともに頑張りましょう。